

夏休み期間中の感染拡大を防ぐために

〈 園児・児童・生徒の保護者の皆様へ 〉

このパンフレットは、松山市で発生した新型コロナウイルス感染症事例をもとに作成しています。

家庭への持ち込みを防ぐため **家族全員で感染対策**に取り組みましょう。



これだけはやってほしい3つの感染対策

① マスク着用の徹底

マスク着用の目的は、飛まつを飛ばさないことです。
5分間の会話で1回分の咳と同じくらいの飛まつ
(約3000個)が飛ぶと言われています。



鼻出しマスク あごマスク

【マスク着用の注意点】

- ・マスクは正しく着用しましょう。(鼻と口を覆う)
- ・人と接触する時は必ずマスクは着用しましょう。
- ・気温の高い場所や運動時には、無理にマスクをしないようにしましょう。



(未就学児の場合は特に注意しましょう)

② こまめに換気

- ・空気の通り道を確保しましょう。
(2方向から空気の出入れを)
- ・30分に1回は空気の入替えを
しましょう。
- ・換気がしにくい場所では、
換気扇や入口ドアの開放など
で工夫しましょう。



③ こまめな手洗い

- ・食事の前には手を洗いましょう。
- ・家に帰ったら、手を洗いましょう。
- ・水と石けんを使って、
しっかり洗いましょう。
- ・手が洗えない時は
アルコールで消毒しましょう。



《 保護者の皆さんへお願い 》

- ① 保護者の皆さんが**率先して感染リスクが高い行動は控えるように**心がけ、家庭に持ち込まないようにしましょう。
- ② 毎日、家族の健康状態（発熱、咳、喉の痛み、倦怠感など）に気を配り**体調不良に早めに気づきましょう**。
- ③ お子さんに少しでも**症状があれば、部活、校外活動、人が集まるイベント等は休ませて、早めに医療機関を受診しましょう**。

注意

これまでの事例で分かった感染経路（推定）やリスクの高い行為や場面です。家族みんなで話し合い、感染リスクの高い行動は控えるようにしましょう。

保護者に注意してほしいリスクの高い行為・場面

県外への出張や旅行

<注意するポイント>

- 流行地への往来は自粛（やむを得ず行く場合）
- マスク着用など感染対策を徹底
- 不特定多数との接触を回避（帰ってから2週間）
- 体調のセルフチェック
- 不特定多数との接触を自粛



プライベートの飲み会

<注意するポイント>

- 普段会わない人との飲み会は自粛
- 少人数かつ短時間での飲食を厳守
- 食事以外の時はマスクを着用
- 大声を出さない
- 適度に距離を保つ



県外の親戚や友人との集まり

<注意するポイント>

- 帰省やお盆の時期は特に注意
- 訪問者の体調を確認
- 冠婚葬祭での集まりも要注意
- 流行地からの訪問者を含む集まりは特に慎む
- 「換気」「マスク着用」を徹底



家族ぐるみの交流

<注意するポイント>

- お泊り、家での食事会、お茶会などリスクの高い交流は慎む
- 「換気」「マスク着用」を徹底
- 体調不良者がいる場合は中止する



園児・児童・生徒に注意してほしいリスクの高い行為・場面

部活や塾などの活動

<注意するポイント>

- 話す時には必ずマスクを着用
- 体調が悪い時は参加しない
- 不要な大声を出さない

(活動終了後)

- すぐに手を洗う
- 帰る前に長時間の雑談をしない
- しゃべりながらの飲食をしない



活動途中の食事や給水

<注意するポイント>

- 飲食の時以外はマスクを着用
- 飲食する時は話をしない
- 対面での飲食をしない
- 回し飲みはしない
- 適度な距離を保つ
- 飲食する場所は「換気」「人数制限」「しゃべらない」を徹底



移動時・休憩時等の接触や会話

<注意するポイント>

- 登下校などマスクを外す場面では話さない
- 車の送迎では、「飲食しない」「車内の換気」「マスク着用」を徹底
- 更衣室では、「換気」「人数制限」「しゃべらない」を徹底
- 休憩時はマスクを着用



友人との遊び

<注意するポイント>

- 友人宅で遊ぶ時も、「換気」「マスク着用」を徹底
- 遊んだ後はすぐに手を洗う
- できるだけ同じ物は使わない
- 大声をださない



新型コロナウイルス感染症の特徴

● 見つけにくい感染症です!!

- 症状だけでは風邪との区別はつきにくいいため、症状が出始めた時の初期対応が最も重要です!!
- 無症状感染者でも他の人に感染させることがあります。

● 高齢者は重症化リスクが高く、若年者も軽視できない感染症です!!

- 高齢者は重症化しやすく致死率も高いため、高齢者と同居している家庭は特に注意が必要です。

● 幼児、小・中学生では家庭内感染が最も多い感染経路です!!

お子さんが感染した時の対応

お子さんの保護者



松山市保健所



医療機関を受診

受診医療機関が分からない場合はコールセンター（☎909-3483）に御相談ください。

医師が検査等で
陽性と判断

医師が保健所に連絡

○ 医療機関からの報告。

患者への対応

どこにも立ち寄らず自宅に帰宅し、療養先が決まるまで隔離してください。

入院先や療養先は保健所から説明があります

保健所の調査に協力
(本人からも聞き取りを行う場合もあります)

○ 保健所の調査等

基本的には電話で調査します。

(調査内容)

- ・発症日の確認、症状、病状の経過
- ・医療機関の受診状況
- ・家族構成、家族の体調不良者の有無
- ・患者の行動、接触者の情報
(発症前2週間から隔離までの期間)

(感染対策の助言)

- ・家庭の消毒、隔離方法のアドバイス

○ 同居家族へ連絡
体調確認

連絡を受けた同居家族はすぐに帰宅

○ 自宅の消毒 (有効な消毒薬)

70%以上のアルコール又は
0.05%次亜塩素酸ナトリウム液

○ 園・学校・児童クラブ・塾等への連絡

連絡してほしい場所を保健所から説明

○ 家族のPCR検査

結果が判明するまで自宅で待機

○ 自宅待機と健康観察

患者との最終接触日から
2週間は自宅待機と健康観察を報告



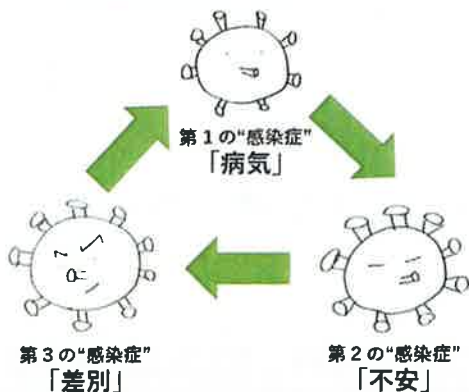
<園・学校との連携について>

松山市保健所では、教育機関等と連携して迅速に対応するために以下の必要な情報を共有しています。

(共有情報)

- ・患者の基本情報
- ・濃厚接触者の基本情報
- ・PCR検査の受検予定及び検査結果

新型コロナウイルス「3つの感染症」を知ろう!! 負のスパイラルを断ち切るために



3つの“感染症”はつながっている

感染症としての「病気」以外に、見えないウイルスへの「不安」やウイルスを遠ざけようとする気持ちからの「差別」も人から人に感染します。

「不安」や「差別」を断ち切れないと、正しい情報が集まらず、効果的な保健所調査や必要な人への検査ができなくなり、感染拡大を止めることができません。

<一人一人ができること>

正しい情報で対応する!!、誹謗中傷に同調しない!!

松山市保健所

TEL:089-911-1815 FAX:089-923-6062

メール: hokenyobou@city.matsuyama.ehime.jp